

歳祝い団体祈祷マニュアル

古谷館八幡神社（こやだてはちまんじんじゃ）では、毎年1月から2月にかけて松岩中学校・面瀬中学校の卒業生同年会を対象とした歳祝い（厄祓い）祈祷の奉仕を行っています。コロナ禍を経て次学年への引き継ぎが難しくなり、実行委員の負担が増している状況を鑑み、歳祝いまでの準備や当日の流れ等を記した文書を作成することにしました。

〈目次〉

1. 趣旨——歳祝いの意義——
2. ワークフロー——歳祝い当日までの準備——
3. 当日のタイムテーブル
4. 当日の持ち物と服装
5. その他

1. 趣旨——歳祝いの意義——

- (1) 新年に厄年（数え33歳・42歳・61歳）を迎える学年を対象として、その一年を平穩に・健康に過ごせることを祈念する「予祝」——困難を乗り越えたことを前もって祝す——行事として歳祝いを行うこと。
- (2) 節目ごとに同級生で集まる機会を設けることで、同級生同士のつながりを強化すること。

2. ワークフロー——歳祝い当日までの準備——

・前年秋頃まで

歳祝い日程の確定と会場予約

*会場選択の注意点

御神酒（おみき）や神饌（しんせん）、祭壇を用意してくれるところを選ぶ
会場の都合で難しければ、神社に相談の上、神社拝殿で行うことも検討

神社への予約（祈祷所要時間は30分ほど）

古谷館八幡神社社務所 Tel: 0226-23-0352

集合写真の撮影を写真店に依頼する場合はそちらの手配も行うと良い

・前年10月第3日曜日（翌年数え42歳を迎える学年から3名程度）

古谷館八幡神社の神輿渡御祭の奉仕——代表して同級生の厄落としを行います——

詳細は神社から事前に書面等で通知が行きます。

（毎年、同級生数名で楽しんで参加されていますのでご心配のないよう）

・前年12月中旬（数え33歳・42歳）、1月中旬（数え61歳/還暦）...歳祝いの半月前頃までに

歳祝い祈願対象者の名簿（※名前の読み仮名を明記）を作成

当日の儀式の典儀（司会）を決める

八幡神社に電話で日程調整連絡のうえ、打ち合わせ

打ち合わせ時に祈願対象者名簿を提出。司会等の簡単な予行練習を行う。

- ・打ち合わせ後、当日まで

会長は「祭文（さいもん）」を準備（42歳・61歳のみ）

打ち合わせで詳細をご説明します

- ・歳祝い当日（詳細は下記へ）

3. 歳祝い当日のタイムテーブル（仮 詳細はホテル等会場の担当者に問い合わせ）

神事（30分程度）

33歳・42歳「〇〇中学校第〇回生 歳祝い・健康祈願祭」

61歳「〇〇中学校第〇回生 還暦奉告祭及び健康長寿祈願祭」

↓

集合写真撮影

↓

会食

4. 当日必要なもの

- ・初穂料：金3万円

- ・おふだ・お守り授与料：おふだ（名前入り）33歳800円、42歳・61歳1000円
お守り 500円

※おふだとお守り代×参加人数分が必要となります

* 祝儀用のし袋に入れる（授与品料は白い封筒でも可能）

表書きは「御初穂料」「授与品料」と書き、「〇〇中学校第〇回生」などと記名する

- ・御神酒：事前に会場に依頼

のし紙には「奉獻」と書き、「〇〇中学校第〇回生」などと記名する

- ・御神饌（ごしんせん）：事前に会場に依頼

- ・祭文（さいもん） ※42歳・61歳の実行委員長が用意。打ち合わせ時に見本をお見せします。

5. その他

神輿渡御祭（数42歳男子有志）への参加について

- ・前年の神輿渡御祭で他の氏子らと交代で神輿を担ぎ、直会でお料理をいただきます。
- ・9月頃に神社から奉仕者の確認の連絡がありますので、3名程度候補者を選出ください。

不明な点は八幡神社社務所（TEL0226-23-0352）までお尋ねください。

〈資料〉

次 第

一、開式

「只今より、松岩・面瀬中学校第〇回生〇歳・・・祈願祭を齋行いたします。」

一、修祓（しゅばつ）

司会：「修祓」

副齋主：祓い幣の前に前進。二礼。

司会：「皆様ご低頭願います。」

副齋主：祓い言葉奏上～奏上終了（カシコミカシコミモウス・・・）。

司会：「ご低頭お直り願います。」

副齋主：祓い幣により、齋主を祓う。その後、参列者の前に進む。

司会：「皆様ご低頭願います。」

副齋主：参列者を祓う。

司会：「ご低頭お直り願います。」

副齋主：祓い幣を戻す。定位置に戻る。

一、降神（こうしん）

司会：「降神」

齋主：祭壇へ進み、二礼。

司会：「皆様ご低頭願います。」

副齋主：「オー」という声を発す（ケイヒツ）。発声が終了したら・・・

司会：「ご低頭お直り願います。」

齋主・副齋主：拝礼、定位置に戻る。

一、献饌（けんせん）

司会：「献饌」

副齋主：祭壇へ進む ～ 定位置に戻る。

一、祝詞奏上（のりとそうじょう）

司会：「祝詞奏上」

齋主：祭壇中央へ向かい、二礼、祝詞を開き始める・・・

司会：「皆様、ご低頭願います。」

齋主：祝詞奏上。終了（カシコミカシコミモウス・・・）。

司会：「ご低頭お直り願います。」

一、祭文奏上（さいもんそうじょう）【四十二、還暦のみ】

一、玉串奉奠（たまくしほうてん）

司会：「玉串奉奠」

副齋主：玉串のところへ前進。

齋主：副齋主のところへ前進。玉串を受け取る。

齋主・副齋主：拝礼。齋主は定位置に、副齋主は玉串のところへ戻る。

司会：「実行委員長、ご拝礼願います」。

実行委員長：玉串を受け取り拝礼。定位置に戻る。

司会：「一組を代表して、〇〇さんお願いいたします。一組の皆さん、〇〇さんに合わせて二礼二拍手一礼の作法でご拝礼願います。」

一組代表：玉串を受け取り拝礼。定位置に戻る。

以下同じ。

玉串奉奠の順番

- ① 齋主
- ② 実行委員長
- ③ 一組代表「一組の皆さん〇〇さんに合わせてご拝礼願います。」
- ④ 二組代表「二組の皆さん〇〇さんに合わせてご拝礼願います。」
- ⑤ 三組代表「三組の皆さん〇〇さんに合わせてご拝礼願います。」

一、撤饌（てっせん）

司会：「撤饌」

副齋主：祭壇へ～定位置に戻る。

一、昇神（昇神）

司会：「昇神」

齋主：祭壇へ進み、二礼。

司会：「皆様ご低頭願います。」

副齋主：「オー」という声を発す（ケイヒツ）。発音が終了したら・・・

司会：「ご低頭お直り願います。」

齋主・副齋主：拝礼、定位置に戻る。

一、閉式

司会：「以上で、松岩・面瀬中学校第〇回生〇歳・・・健康祈願祭を終了いたします。」